

LIONS NEWS

LIONS CLUBS INTERNATIONAL DISTRICT 330-A



Vol.3 2025 January



ライオンズクラブ国際協会 330-A 地区の皆様へ

<https://youtu.be/0pYPmmqEtH0?si=dz-V a4tHehXXILul>

新年明けましておめでとうございます。本年もどうかよろしくお願い申し上げます。去年は8月7日より国際協会より私がガバナーを拝命いたしまして、8、9、10、11、12月と5ヶ月半経ちましたが大変皆様にはお世話になりました。

ガバナー公式訪問、そしてその後はクリスマス例会などバタバタと多忙の毎日を過ごしてまいりましたが、なんとか年末まで一生懸命走り切り、本日新年を迎えることができました。これも皆様のご協力があったからこそできたことだと思っております。誠にありがとうございます。

今年はどういう年にしていこうかという風に思いましたが、やはり私が唱えているガバナーズローガン「いつでもどこでも誰とでもできる奉仕活動」そしてその奉仕活動を通してメンバーが笑顔で通う楽しいクラブ作りを今年も各クラブの皆様にはお願いをしたいと考えております。

「いつでもどこでも誰とでもできるこの奉仕活動」は、例えばどんなことかと言いますと今年も皆さんと2月9日に駅前一斉活動を行いたいと思っております。これは第2回目になります。

東京都が進めております「TOKYO海ごみゼロアクション」というゴミの清掃活動のミッションがございます。

このミッションに我々の駅前清掃を一斉活動が合意しまして、東京都に後援をいただくことになりました。

「町にあるゴミが川に流れ、川から海に流れ着いていく、そして最終的に海には相当のゴミが流れ着いていく」ということで、非常な公害を招いているそうです。

我々が行うライオンズクラブの活動の一環として「駅前一斉清掃活動」がこれに合意したということで、これから党の応援を受けて、皆さんの活動が表に出て行くことになると思います。今期もライオンズクラブの活動とが表に出て行く年にしたいと考えています。

また、今年11月15日から「デフリンピック」という聴覚障害者のオリンピックが日本で開催されます。この聴覚障害者のデフリンピックに330-Aは非常に労力と、そして金銭的にも協力することになっております。11月15日開催ですから、実際のところは上野次期ガバナーが継続案件として このデフリンピックを支えていくことになると思いますが、これを私の期でも進めていき、バトンタッチをしたいと考えております。

このデフリンピック、実は百年の歴史があります。聴覚障害者の皆さんのためにあるオリンピックをぜひ今期は支えながら大事につなげていきたいと考えております。

大きくはこの2つでございますが、今期のガバナーテーマ「いつでもどこでも誰とでもできる奉仕活動」を通して、メンバーが笑顔で通う楽しいクラブ作り、これを本当に、本当に、本当に!皆さんに実現をしていただきたいと思っております。

メンバーが楽しく通ってくるクラブがあれば、離れていく人はいないと思っております。

楽しいクラブ作りが成功すれば、最終的にはだんだん人が集まってくる。クラブ作りが成功して、最終的には会員増強ということにつながっていくと考えております。私は会員増強するために「この人を連れてこい、あの人を連れてこい」ということは絶対に申し上げません。メンバーが楽しく集まってくるクラブ作りが成功することによって、人が集まってくるクラブができる。

これが一番将来の会員の減少を止め、最終的には会員の増強につながっていく、この構図を皆さんにご理解いただきながら、今年の半年残りを皆さんと一緒に、楽しみクラブ作りを目指していくのが今年の私の抱負でございます。

よろしくお願い申し上げます。ありがとうございます。



増上寺 献血・骨髄バンクドナー登録活動

1月2日(木)と3日(金)、4日(土)の三日間、芝の増上寺で恒例の献血と骨髄バンクのドナー登録会が行われました。年末、年始は献血者が減る中、増上寺と池上本門寺で多くのライオンズクラブのメンバーが協力しています。例年、2日と3日の二日間行っていましたが、日本赤十字社の依頼により今年は三日間の活動になりました。献血者は2日が68名(申し込み92名)、3日が54名(申し込み69名)、4日が44名(申し込み46名)でした。三日間合計では166名(申込者は207名)、骨髄バンクドナー登録は21名という過去最高の結果となりました。毎年、日本赤十字社が提供する干支のぬいぐるみを楽しみに献血に来られる方も多くおられます。さらに今回は記念品として東京白門ライオンズクラブのメンバーからからピーツドリンク200本を提供していただきました。寒い中、年初から多くのキャビネット役員やメンバーにご協力をいただきました。活動に参加された皆様、お疲れさまでした。

広報・IT委員会 委員 茂岡幹弥



ごみゼロアクション

森亮介ガバナーは、東京都内の各駅周辺の二斉清掃を掲げており、今期のメインアクティビティの一つとしておられます。今回は、東京都から、TOKYO海ごみゼロアクションを推進されている東京都の資源循環推進部一般廃棄物対策課長の清野成美様にキャビネット事務局にお越しいただき、森ガバナーと座談会形式で、ごみ問題についてディスカッションしていただきました。



開催日：2025年1月7日
於：ライオンズクラブ国際協会330-A地区事務局
ファシリテーター：広報・IT委員会委員長L藤田紘子
撮影記録：同副委員長L吉岡晋、同アドバイザーL坂本純一

① TOKYO海ごみゼロアクションを立ち上げたきっかけや、その取り組みについて教えていただけますか？

東京都資源循環推進部一般廃棄物対策課長清野成美様(以下、清野課長)

・TOKYO海ごみゼロアクションを立ち上げたきっかけについて

東京都は2019年に気候変動に立ち向かうためのゼロミッション東京戦略を打ち出し、その具体的な計画として、プラスチック削減プログラムを掲げております。プラスチック削減は、CO2排出量を減らし、気候変動の緩和に寄与するとともに、プラスチックごみによる海洋汚染防止にもつながります。海洋生態系への悪影響を防ぐため、プラスチックごみの削減が重要です。

TOKYO海ごみゼロアクションは、プラスチック削減プログラムの一環として、海洋へのプラスチックごみ流出防止に係る取組として立ち上げました。都民や様々な団体の皆様と協力し、海にプラスチックごみを流出させないことを目的としております。

・そもそも海ごみとは何ですか？

2016年1月の世界経済フォーラム(ダボス会議)で「毎年世界で800万トン以上のプラスチック

ごみが流出しており、このままなら2025年(今年)には、海のプラスチックが2億5000万トン魚の1/3になる見込みで、2050年にはその重量が魚を上回る可能性がある。」というレポートが発表されました。

日本の海岸に漂着しているごみは、「レジ袋等のポリ袋」や「ペットボトル」など、私たちの生活の中から発生している「生活系のごみ」が約半分を占めています。街なかでポイ捨てされたごみや屋外で放置されたごみは、雨や風によって流されて河川や水路に入り、やがて海まで流れ出て、海ごみとなってしまいます。

海ごみには海岸に打ち上げられた「漂着ごみ」や水中や水面に浮遊している「漂流ごみ」、海底に沈んでしまった「海底ごみ」があります。

この海ごみの大半はプラスチックです。プラスチックは自然にはほとんど分解されず、環境中に長い時間残留し、生物や漁業、景観に影響を与えています。

・海ごみがあるとどのような影響があるか

海ごみは海岸の美しい景観を台無しにするだけでなく、海の生き物にも悪い影響を及ぼすと言われています。餌と間違えて食べてしまったり、海に流された網などが魚やウミガメに絡みついて動けなく

なってしまうということも世界各地で起きています。漁業にも影響があります。漁師の方が網を引き揚げると魚よりもごみのほうが多いことがあるそうです。

また、海ごみの大半を占めるプラスチックは自然にはほとんど分解されず、環境中に長い時間残留し、紫外線や波の力により細かく砕け、5ミリ以下になった小さいから「マイクロプラスチック」になります。海の生態系全体に大きな悪影響を与えることが懸念されています。

・現在、海ごみをゼロにするために東京都として取り組んでいることは何ですか

東京都環境局では、現在、東京の海にプラスチックごみを流出させないよう、東京の海ごみ問題を都民に広く啓発するとともに、海ごみや河川ごみの清掃活動への参加につなげる「TOKYO海ごみゼロアクション」を実施しています。

TOKYO海ごみゼロアクションのウェブサイトで、海ごみの発生原因、影響についてイラストでわかりやすく紹介しています。また、海ごみを減らす清掃活動などイベント情報もご紹介しています。ほかにも、環境関連の展示会等イベントの出版や、海岸清掃イベント等を実施するなどの取り組みを行っています。



②今期のメインアクティビティである一斉清掃についてお話いただけますか？

330・A地区森亮介ガバナー
(以下、ガバナー)

私が、なぜ街の駅前の清掃活動という考えに至ったかと言いますと、東京都にライオンズクラブの182クラブあるのですが、ほとんどのクラブの名称に駅名が入っていたり、駅を拠点とする奉仕活動をしています。例えば、私が所属する渋谷ライオンズクラブは渋谷駅の「渋谷」、恵比寿LC、原宿LC、表参道LC、赤坂LC等、駅名が入っているライオンズクラブがたくさんあります。そこで、わかりやすいと思ったのが、駅前の一斉清掃活動です。清掃活動というのは、ごみ袋と軍手とトンガがあればできる

安価で出来るアクティビティです。汗を流し喜びに変えるというアクティビティの基本が詰まっております。

昨年の10月8日のライオンズデーに駅前の一斉清掃活動の第一回目を実施し、約60クラブ約600名が参加し、合計約3000リットルのごみが集まりました。

駅前ではなく海岸ですが、三宅島から清掃活動の様子や集めたごみ袋の写真を送っていただきましたが、参加した皆さんがごみ袋を宝を持っていくかのように眩しいくらい笑顔がとても印象的でした。

実は、ガバナーは、任期が1年でございます。各ガバナーのお考えも様々ですが、このアクティビティが今期のみならず来期以降も続くように、次のガバナーにもお願いしております。来期以降も続くアクティビティとなれば、東京都の皆様にも東京都在住の皆様にも貢献できると考えております。私のガバナーの任期は今年の6月までですが、第3回、第4回を予定しております。

③ありがとうございました。これまでライオンズクラブは、献血奉仕活動や薬物乱用防止教室を330・A地区全体で実施してきましたが、ゴミ拾いは今期森ガバナーが新たに地区全体で実施するという方針なので来期以降も継続す

ることを願っております。今回、東京都さんに連携をお願いした経緯について教えていただけますか？

ガバナー 330・A地区は東京都にあるライオンズクラブの集まりですので、その東京都と連携させていただけるとはこんなにも光栄なことはないと思っております。すなわち、メトロポリタン(首都)である東京において、我々ライオンズクラブ限りで実施するよりも、東京都という行政と連携してアクティビティを実施する方がはるかに魅力あるアクティビティを実施できるのは当然のことであると考えました。東京都と何かコラボできるアクティビティはないかとお尋ねしたところ、「TOKYO海ごみゼロアクション」というのを聞きまして、これは街にあるごみが下水に流れ、河川に流れて、海に流れることになりまますから、これは東京都にお知らせしようとなりまして、ご協力をオファーさせて頂きました。

日本全国にはライオンズクラブの地区が35地区ありまして、35人のガバナーがいるのですが、他の地区のガバナーに一斉清掃活動をお話したところ、非常に興味を持つガバナーがいらつしやいました。地区によっては、地域の実情に応じて、駅前一斉清掃活動ではなく、バス停や高速道路のサービスエ

リアや海岸等の場所で一斉清掃活動を実施している地区もあるようです。35地区で一斉に清掃活動を実施して、ニュースに取り上げてもいい、ライオンズクラブが清掃活動をやっていることを国民の皆様認識してもらい、そこから献血活動もやってくるんだ、薬物乱用防止教室もやってくるんだ、と一斉清掃活動がライオンズクラブのアクティビティ全般の広報活動の起点となることを期待しております。

④森ガバナーは東京都の地区のライオンズクラブのリーダーですが、日本全国のライオンズクラブを巻き込んでいければ、とてもすごいことだと思います。東京都さんは、東京湾と言えば近県埼玉、千葉、神奈川県とありますが、他県との連携は考えていらつしやいますか？

清野課長 広域的な取り組みはとても重要な視点ですので、4都県で広域連携する取り組みは検討中です。

実は、東京都自体が広く、伊豆諸島や小笠原諸島といった離島もありません。海外からの海ごみも多く流れ着きます。流木等の自然系漂着物のほか、漁網やブイ、ペットボトルなどの人工系漂着物もあります。

こうした海岸漂着物、いわゆる海ごみを、国や島しょ町村、そして



地元に住民・団体の皆さんと協力して回収する取り組みを行っています。

特に小笠原諸島では、2023年、2024年と海岸クリーンアップイベントを開催しました。小笠原には世界遺産もありますので、美しい海を目的に多くの観光客が訪れます。観光客の皆さんも巻き込んで海岸の清掃活動を実施し、海ごみ問題を知らせてもらい身近にできることを実践するきっかけとしています。

ガバナー 海上クルーザーで横浜ベイサイドマリーナから相模湾に出ても何回か往復したことがありますが。相模湾と太平洋の境に横幅したら100メートルくらいのすごく多くの海ごみが浮いているんです。相模湾は風で静かな海なんです。是非とも神奈川県に頑張っていたいただきたい、これは330・B地区の話ですね(笑)

⑤東京都のTOKYO海ごみゼロアクションとライオンズクラブがどのようにコラボするかという話ですが、現在、東京都のTOKYO海ごみゼロアクションの特設ページに協力団体が挙がっていますが、掲載されるに至る経緯を教えてくださいませんか？

清野課長 東京都と包括協定を結んで本事業に協力いただいている団体もありますが、TOKYO海ごみゼロアクションを運営する東京都環境公社が清掃活動やワークショップを実施する際に、地元



東京都 環境局 資源循環推進部 一般廃棄物対策課長 清野 成美様

自治体や関係者から情報をいただいたり、ご紹介いただいたりしたなどがあります。TOKYO海ごみゼロアクションにご賛同いただき、一緒に海ごみ問題に取り組める公益的な団体です。

より多くの都民に海ごみ問題を知ってもらい、自ら行動していただくためには、様々な活動や団体の情報をご紹介することがアクションに繋がると考えています。

例えば、海ごみを減らす活動を広く周知し、参加者を募って、継続的に清掃活動を行っているということなどがあれば、ホームページに掲載させていただいています。

ライオンズクラブさんも継続的に清掃活動を実施されるという話ですので、条件を満たすことになると思います。

ライオンズクラブさんのイベントの告知をホームページでさせていただければ、より多くの方にご覧いただけて参加していただけるのではないかと思います。

⑥ライオンズクラブは、一斉清掃という取組みをしているわけですが、より良く広報するためにキャッチーなネーミングが出来たら嬉しいのですが、何か良い名前はありますか？

清野課長 TOKYO海ごみゼロアクションの「アクション」はどう

でしょうか。まず、行動を起こしてみよう！という趣旨で、行動を起こしてみると今までわからなかったことや違う問題点が見え、視野が広がるということがあります。また、アクションを起こしたくてもなかなか一歩が踏み出せない人に対して、アクションを起こしている人には励みになります。みんなが行動を起こしていくと変わる未来が見えるという意味で「アクション」はどうでしょうか。

ガバナー 決めました！ごみゼロアクションにします(笑)

清野課長 海ごみは世界的な問題ですが、一人一人が身近にできることがあります。それを行動に移すことが重要です。TOKYO海ごみゼロアクションでは身近にできることとして、3つのアクションを紹介しています。

(1) その一つ目が使い捨てを見直す。マイバックやマイボトルを持ち歩いたり、シャンプーなどの詰め替えなどです。

(2) 二つ目のアクションが、ごみに関する基本的ルールを守ること。ポイ捨てをしない、海や川、山でのレジャーでのごみは持ちかえる、などです。

(3) そして三つ目のアクションとして清掃活動に参加しようということです。まさに、ライオンズクラブ



330-A地区ガバナー 森 亮介

の皆さんの清掃活動ですね。海ごみについて学び、街中や河川敷・海岸などでの清掃活動に参加することを身近にできることとして、普及啓発しています。

ガバナー 清掃活動を通じてわかったことは、ごみで一番多いのがペットボトル、二番目がタバコの吸い殻です。トングが必須アイテムですね。タバコの吸い殻は一回で300本分くらい拾います。雨で流れて下水に流れ、河川に流れて海ごみに

なります。紙くずも多いですね。ごみを捨てる人は捨てる方が巧妙で、見えにくいところに捨てるので清掃が大変です。例えば、コンビニの垣根の下とか隠れたところ、公園とか、見えにくいところにあるんです。

東京の西の方のライオンズクラブは、メンバーの家族も清掃活動に参加してもらっています。子どもたちに参加してもらって、ごみ捨てダメだよと啓発する意義もあると思っています。



<https://x.gd/xilwl>

⑦2月9日の二斉清掃活動についての告知を改めて願います。

ガバナー 2月9日は八王子の駅前
前で駅伝があつて、八王子いちよう
ライオンズクラブがマラソンに参加
して、駅伝で出たごみを大会直後
に回収するというアクティビティ
もごさいます。2月9日は、「やる

ぞ！」と私が号令をかけて参加する各クラブにZOOMで配信することも予定しております。

大きなイベントが絡めて、市民の皆様
にライオンズクラブの活動を理解して
いただく機会としたいと思います。

⑧ライオンズクラブの2月9日の一斉清掃活動において、東京都として
ライオンズクラブを通じて発信したい
メッセージをおねがいします。

清野課長 TOKYO海ごみゼロアクションが目指すことを、ライオンズ
クラブさんは清掃活動としてすでに
実践されていることに感謝申し上げます。
2月9日のアクティビティでは、皆
さんが行う清掃活動が、世界の海ごみ問題の解決の
一助につながっていること知って
いただきたいです。SDGsの14番目の
ゴールは「海の豊かさを守ろう」です。
東京海ごみゼロアクションは、海の豊
かさを守ることに向けて取り組んで
います。

ぜひこれからも多くの皆さんを巻き
込んでいただき、海ごみ問題を
知っていただくとともに、清掃活動
などのアクションなどに結び付
けていただけるとありがたいと思
います。

ともに海ごみゼロに向けてア
クションしてまいります。



CLUB ACTIVITY

2024.11.17

東京シティLC

東京シティライオンズクラブの森
環境保全アクティビティ

<https://330a.jp/club/20241119-1.html>



2024.11.16

東京法政LC

靖國神社清掃奉仕活動

<https://330a.jp/club/20241119-2.html>

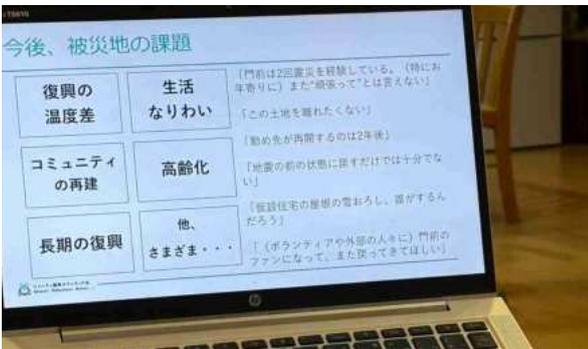


2024.10.21

東京五反田LC

手から手へ...輪島市門前町へ見える支援を

<https://330a.jp/club/20241123-1.html>



2024.11.21

東京江東南LC・東京蒼天LC

薬物乱用防教室を
江東区立大島中学校にて開催

<https://330a.jp/club/20241123-2.html>



2024.11.20

東京町田LC・東京町田クレインLC

第2回合同チャリティゴルフ大会

<https://330a.jp/club/20241123-3.html>



2024.12.01

東京表参道LC

【満員御礼のお知らせ】

<https://330a.jp/club/20241125-1.html>



CLUB ACTIVITY

2024.05.18・09.21・11.16

東京マリアLC

千鳥ヶ淵戦没者墓園清掃ボランティア

<https://330a.jp/club/20241125-2.html>



2024.12.01

東京玉川LC

玉川消防少年団 防火防災祈願餅つき大会と
玉川地域少年野球大会閉会式

<https://330a.jp/club/20241201-1.html>



2024.10.20

東京小平LC

小平市民まつり参加と献血アクティビティ

<https://330a.jp/club/20241201-2.html>

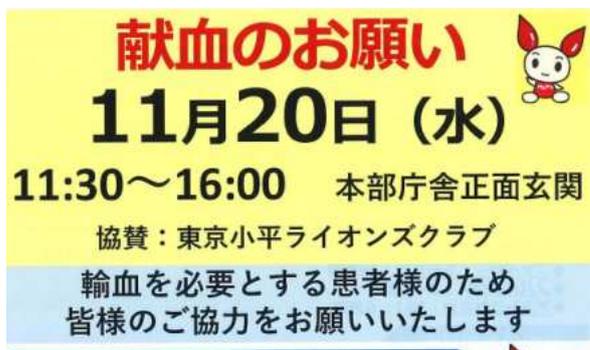


2024.11.20

東京小平LC

自衛隊小平駐屯地 献血アクティビティ

<https://330a.jp/club/20241201-3.html>



2024.11.23

東京小平LC

小平ファーマーズマーケット献血アクティビティ

<https://330a.jp/club/20241201-4.html>



2024.11.16・17

東京さぎそうLC

「こどもすぼりんぴつく秋2024」への協賛による
ライオンズクラブ広報活動

<https://330a.jp/club/20241205-1.html>



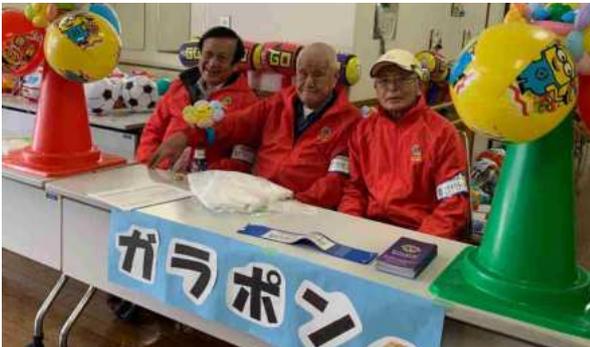
CLUB ACTIVITY

2024.11.30

東京さぎそうLC

都立久我山青光学園秋まつり

<https://330a.jp/club/20241205-2.html>



2024.11.18・25

東京カレーLC

秋田の「困った」を「ありがとう」に変えた
合同アクティビティ

<https://330a.jp/club/20241206-1.html>



2024.12.06

東京蒼天LC

薬物乱用防教室
多摩市立多摩第二小学校にて開催

<https://330a.jp/club/20241206-2.html>



2024.12.08

東京調布LC

調布市福祉まつりにバザー出店

<https://330a.jp/club/20241210-1.html>



2025.01.26

東京三軒茶屋LC

日赤献血@三軒茶屋

<https://330a.jp/club/20241217-1.html>



2024.12.10

東京蒼天LC

薬物乱用防教室を
江東区立有明小学校にて開催

<https://330a.jp/club/20241219-2.html>



CLUB ACTIVITY

2024.12.07

東京江東南LC

江東区青少年対策東陽地区委員・江少連東陽地区連合会
主催の講演会にて薬物乱用防教室を開催

<https://330a.jp/club/20241219-1.html>



2024.11.23

東京玉川LC

玉川交通安全ポスター展 表彰式

<https://330a.jp/club/20241126-1.html>



CABINET

2024.11.08

2024-25 森ガバナー
8リジョンガバナー公式訪問@椿山荘

<https://330a.jp/club/visits/20241112-1.html>



2024.11.21

東京2025デフリンピック開催に向けて
(第二回キャビネット会議来訪)

<https://330a.jp/cab/20241125-3.html>



2024.12.10

東京アスリートライオンズクラブ所属の山口美也選手が知的障害者の
「パラID全日本卓球選手権大会」で優勝!日本ランキング1位に

<https://330a.jp/cab/20241211-1.html>



2024.12.16

リジョン・チェアパーソン、
ゾーン・チェアパーソンセミナーレポート

<https://330a.jp/cab/20241220-1.html>



会員増強への挑戦

330-A 地区の現状と未来を見据えて

クラブ会員の減少が叫ばれる中、今号より会員増強について模索する全3回の特集連載をスタートします。

本特集の目的は、会員増強のための成功事例や課題解決のヒントを提供し、地区全体で取り組むべき方向性を明確にすることにあります。第1回では、森ガバナーと GMT地区コーディネーターの中井 L による対談を通じて、330-A地区の現状を分析しつつ、会員増強のための具体的な指針を探ります。



L 中井 正力

330-A元地区ガバナー名誉顧問
GMT 地区コーディネーター



森 亮介

330-A地区ガバナー

現状分析：数字が語る 330-A 地区の課題

330-A地区の会員数は現在約 4,636 名(2024 年 12 月時点)。この 5 年間での推移を見ると、2019 年 12 月末の 6,184 名から考えると、深刻な会員減少傾向が続いています。(※会員数はサバナナのデータより抽出)

一方でこの1年で約500名の正会員が増えました。増強自体は誇れる数字ではありますが、退会が多いという点にも目を向けなくてはなりません。

退会による会員の減少は、家族会員の制度変更による退会が大きな要因となっています。家族会員は正会員と異なり、国際会費の年会費のみで会員になることができるクラブがほとんどです。しかし、最近まで正会員と同様に、代議員を選ぶ際の議決権数にもそのメンバー数が反映されていました。そのため日本全国で国際役員を出すという機運が高まっている中で、家族会員の入会が会員増強に貢献してきたという経緯がここ7～8年ありました。

そのため正会員が減少しても、家族会員の増加によってトータルの会員数を維持してきたのです。規定の変更により議決件数へ影響するというメリットがなくなったことで家族会員が減少しているという状況です。

現在会員数約4,700名のうち約800名は家族会員。正会員数は 4,000名を割ってきていると思われます。

当然ですが、330-A地区の発展のためにも、正会員の会員増に注力していかなくてはなりません。

また、各クラブに焦点をあててみると、会員数が10名以下のクラブが34クラブ、10～19名が72クラブとなっています。クラブ結成時の会員数は20名以上のはずなので、182クラブのうち、半分以上が会員減少傾向にあるということです。クラブ活動の本質的な持続可能性を高めるためには、正会員をいかに増やすかが重ねて重要だと言えます。

そもそもなぜ会員増強が重要なのか

会員増強はライオンズクラブにとって「生命維持装置」です。このまま高齢化とメンバーの減少が進めば、組織の発展はありません。各クラブの優先順位の一つ目に会員増強を据えるべきなのです。「人とお金と時間を使ってアクティビティが成り立っている。人が少なくなるということは社会に提供できる価値も少なくなるということ。会員増強をして、お金も人のアイデアも回してかなければいけません。(中井 L)」これからのライオンズクラブを創る、若いメンバーや女性会員の力が今後はさらに必要な時代になってきます。



ガバナーより新入会員へライオンズバッジ贈呈



新入会員入会式 ライオンズの誓い

ハワイのクラブ事例に学ぶ：世代を超えた協力の形

森ガバナーが特に注目したのは、ハワイのリーワードライオンズクラブの好事例です。このクラブでは、75年以上の歴史を持ちますが、メンバーは15名程度と少数精鋭のクラブです。シニアと若手が半数ずつくらいで構成になっており、会長は23歳の女性2期務めています。前会長も24歳男性が2期務めており、4年連続若手の起用をしています。

幹事は77歳のベテランです。起用の理由は「未来のライオンズクラブのリーダーシップを図るためには今から教育しないと間に合わない。そのために経験してもらっている。」若手を前に出し、ベテランがサポートする、これからのライオンズクラブに必要な理想形の一つだと考えられます。また、若いメンバーが参加しやすいお金のかからないアクティビティを実行しているところもポイントです。(古本屋リユース、不要メガネ回収の途上国への寄付、落書き消しなど)こうした世代間の協力体制が、クラブ全体の成長と活力を生み出しています。

メンバーが笑顔で通えるクラブづくり

例会が楽しく笑顔で通えること。自分のクラブを愛していること。この2点が最も重要だとお二人は語ります。その上で保守的にならず、新しい若いメンバーを入れていく意識改革が各クラブに必要です。

森ガバナーが例会訪問された、昭島ライオンズクラブは会員数40名、メンバーの平均年齢は50.2歳(2024年7月1日時点)と若く、非常に和気あいあいと楽しい例会を行っています。規律や礼儀はもちろん大切ですが、各世代、そしてメンバーみんなが楽しく笑顔で通えるクラブづくりを実践する必要があります。ライオンズの誓いでもある、相互理解と友愛の精神を養うことが、まさに今試されているのではないのでしょうか。



盲導犬支援募金活動

まとめ：会員増強のために必要なこと

最後に、会員増強のために必要な要素として、以下の3点が挙げられます

1. 世代間の協力:ベテランと若手が互いの強みを活かし、協力する文化と仕組みづくり。
2. 活動の柔軟性:多種多様な人が楽しく笑顔で参加したくなる、例会やアクティビティづくり。
3. 相互理解の深化:若年層や女性が安心して参加できる環境の整備。

この3点にテコ入れをしながら330-Aの全クラブが「笑顔で通えるクラブづくり」を目指していき、ライオンズクラブの未来をともに支える仲間を迎え入れていきましょう。また今後はより一層、会員増強委員会からキャビネットへの情報共有と各クラブへの伝達を進めていきます。各クラブが独自の取り組みを行う一方で、地区内で有益な情報と課題を共有することで、各クラブの取り組みがより効果的になるように働きかけていきます。広報・IT 委員会では、今後も会員増強にむけた風土づくりを発信していきます。次回からは好事例クラブの様子を取り上げていきます。お楽しみに!



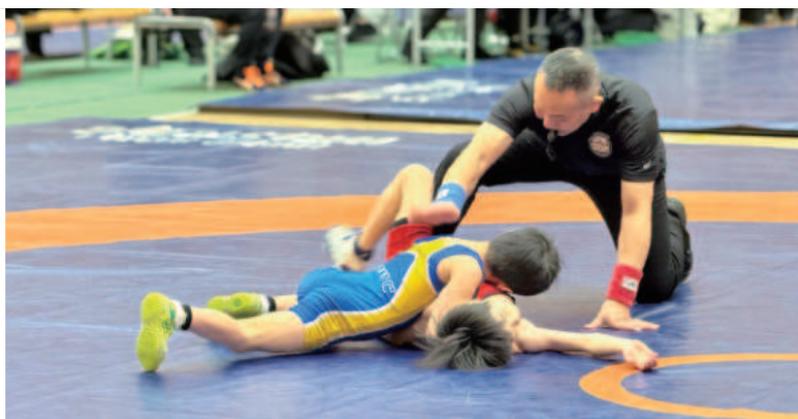
第2回東京都少年少女レスリング選手権大会

1月18日(土)国立オリンピック青少年総合センターにおいて東京新宿ライオンズクラブ主催の第2回東京都少年少女レスリング選手権大会が開催された。東京新宿ライオンズクラブのメンバーのみならず、森亮介ガバナールを始めとする多数のライオンズメンバーが応援に駆けつけて下さった。

第2回は未就学児から小学校6年生まで階級別のクラスに分けて実施したため、参加人数は史上最多の大規模な大会となった。他方で、マットを4面利用し、会場をフルスケールに使用できたため、スムーズな試合進行となった。

昨年のパリオリンピックにおける日本選手の活躍が記憶に新しいところであるが、少年少女の試合は大量に得点が入る目まぐるしい展開ばかりで見どころ満載であった。試合が始まる前から緊張で泣きじやくる選手、負けて悔しくて大泣きする選手、ついつい熱くなって選手に愛のある熱い檄を飛ばすコーチ、そして、表彰式でメダルをかけられて満面の笑みで得意げの選手、様々な人間模様が繰り広げられた。

我々ライオンズクラブは、青少年健全育成のためレスリング選手権大会を開催している立場であるが、逆に選手や関係者からエネルギーをもらい、開催当日の澄み切った晴天同様にさわやかな気持ちとなり、次回以降の大会をより良いものになろうと決意をしたところで、大会は無事終了した。





編集後記

2025年の新年を330-A地区の皆様とともにライオンズクラブのメンバーの一人として無事迎えられたことを大変嬉しく思っております。つい最近21世紀を迎えたばかりだと思っておりましたが、すでに25年、四半世紀が経過いたしました。特に、この5年は、コロナ禍もあり、世界情勢は激動の5年間、そして330-A地区も激動の5年間だったと思います。

私が所属する広報・IT委員会の役割は、地区内で行われているアクティビティ等への取材活動を通じて、地区内の皆様に来るだけ正確かつタイムリーに情報を伝達することです。誤った情報や偏った情報を伝達しないように気をつける必要がございます。他方で、取材や地区ニュースの編集に携わる中で、より正確に情報を伝達するためには、単に情報を右から左に機械的に流すのではなく、取材の対象となるアクティビティ等の内容や沿革を深く勉強した上で、取材・編集を行わなければならない、広報活動の難しさを日々感じております。

ガバナーズテーマにもございますが、当委員会も「いつでも」「どこでも」「誰とでも」できる広報活動により近づけるようお願いしまして、私の編集後記の結びとさせていただきます。



電子版

広報・IT委員会 副委員長 L 阿部清彦

2024-25 広報・IT委員会

L 藤田 紘子	委員長	東京ヒルズ LC	L 牧島 弘充	委員	東京イースト LC
L 河田 淳一	副委員長	東京平成 LC	L 三代 勝之	委員	東京スバル LC
L 吉岡 晋	副委員長	東京けやき LC	L 井上 善貴	委員	東京スバル LC
L 阿部 清彦	副委員長	東京新宿 LC	L 石田 賢	委員	東京三鷹 LC
L 坪坂 有純	副委員長	東京新宿 LC	L 坪谷 茂	アドバイザー	東京平成 LC
L 大和田 博道	委員	東京葵 LC	L 小野 健志	アドバイザー	東京平成 LC
L 堀江 昇太	委員	東京柳橋 LC	L 赤尾 嘉晃	アドバイザー	東京豊新 LC
L 茂原 由美	委員	東京麻布 LC	L 中井 正力	アドバイザー	東京新宿 LC
L 茂岡 幹弥	委員	東京白門 LC	L 坂本 純一	アドバイザー	東京三鷹 LC

ライオンズ国際協会 330-A地区 ライオンズニュース vol.3		発行人: 広報・IT委員会 委員長 L 藤田 紘子
発行: 2025年01月	202500131	Copyright 2024-25 330-A Lions Clubs International All Rights Reserved.